

管理職

- ・学校いじめ防止基本方針
- ・いじめを許さない姿勢
- ・風通しのよい職場環境
- ・保護者・地域との連携

いじめ対応チーム

定期開催

【構成員】

校長、教頭、生徒支援部長、学年主任
学年生徒支援担当、養護教諭 等

キャンパスカウンセラー、民生児童委員 等

- ・学校いじめ防止基本方針の見直し、改善
- ・年間指導計画の作成、実施、改善
- ・校内研修会の企画・実施
- ・アンケート結果、報告等情報の整理・分析
- ・いじめが疑われる案件の事実確認・判断
- ・要配慮生徒への支援方針

いじめ対策委員会

いじめ認知→早期解決

未然防止

- 学習支援の充実
 - ・学習における規律作り
 - ・学びに向かう集団づくり
 - ・意欲的に取り組む授業研究
- 特別活動の充実
 - ・ホームルーム活動の充実
 - ・ボランティア活動への積極的参加
- 教育相談の充実
 - ・面談の定期開催
 - ・キャンパスカウンセラーの活用
- 人権教育の充実
 - ・人権意識の高揚
- 情報教育の充実
 - ・情報モラルの指導の充実
 - ・ネット犯罪防止講演会の開催
- 保護者・地域との連携
 - ・学校いじめ防止基本方針等の周知
 - ・学校公開・公開授業の実施
 - ・地域行事への積極的参加
 - ・家島地域懇談会の実施

早期発見

- 情報の収集
 - ・教員の観察による気付き
 - ・養護教諭からの情報
 - ・生徒・保護者・地域からの情報
 - ・登校時の乗船指導
 - ・昼休みの巡回指導
 - ・アンケートの実施
 - ・各種調査の実施
 - ・定期的な面談における情報
(生徒・保護者)
- 相談体制の確立
 - ・相談窓口の設置・周知
 - ・キャンパスカウンセラーの活用
- 情報の共有
 - ・報告の徹底 (情報を得た場合は、確認・更新を徹底する)
 - ・職員会議等での全職員の情報共有
 - ・要配慮生徒の実態把握
 - ・次年度への申し送り事項の徹底

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- グループ分けをすると特定の子どもが残る
- 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 授業中、教職員に見えないようにいたずらをする
- (生徒、教員どちらも) 些細なことを注意しない

いじめられている子

◎日常の行動・表情の様子

- わざとらしくはしゃいでいる
- おどおど、にやにや、にたにたしている
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 顔色が悪く、元気がない
- 早退や一人で下校することが 増える
- 遅刻・欠席が多くなる
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- ときどき涙ぐんでいる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする

◎ 授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 一人でいることが多い
- 班編成の時に孤立しがちである
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 教職員の近くにいたがる
- 決められた座席と違う席に座っている

◎ 昼食時

- 好きな物を他の子どもにあげる
- 他の子どもの机から机を少し離している
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 食べ物にいたずらされる
- 教室で一人離れて食べている
- 昼食時になると教室から出て行く

◎ 清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 一人で離れて掃除をしている

◎ その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 理由もなく成績が突然下がる
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- 服に靴の跡がついている
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- 手や足にすり傷やあざがある
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている(学校、家庭)
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員によって態度を変える
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 発言の中に差別意識が見られる
- 教師が近づくと、集団が黙り込む
- 教師が近づくと、集団が分散する

年間指導計画

別紙3

	職員会議等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	学級づくり	個別面談 いじめのアンケート① 結果共有会議① 心のサポート委員会①
5月	保護者向け啓発	職員研修会 情報モラル講演会	いじめのアンケート② 結果共有会議② 授業公開 心のサポート委員会②
6月	体育大会への団結	地域行事参加	いじめのアンケート③ 結果共有会議③ 心のサポート委員会③
7月	心の講演会 人権学習 地域清掃	三者面談 個別面談 いじめのアンケート④ 結果共有会議④	
8月	地域行事参加		
9月	海洋スポーツ大会に向けてのクラスの団結	個別面談 いじめのアンケート⑤ 結果共有会議⑤ 心のサポート委員会④	
10月	幼・小・中・高合同防災避難訓練 地域合同交通安全教室 地域行事参加	いじめのアンケート⑥ 結果共有会議⑥ 心のサポート委員会⑤	
11月	人権学習 文化祭に向けてのクラス・部活の団結	授業公開 いじめのアンケート⑦ 結果共有会議⑦ 心のサポート委員会⑥	
12月	地域清掃	いじめのアンケート⑧ 結果共有会議⑧ 三者面談・個別面談 心のサポート委員会⑦	
1月	いじめのアンケート⑨ 結果共有会議⑨ 心のサポート委員会⑧		
2月	カウンセリング研修		
3月	いじめ対応チーム 本年度のまとめ		心のサポート委員会⑨

職員会議等

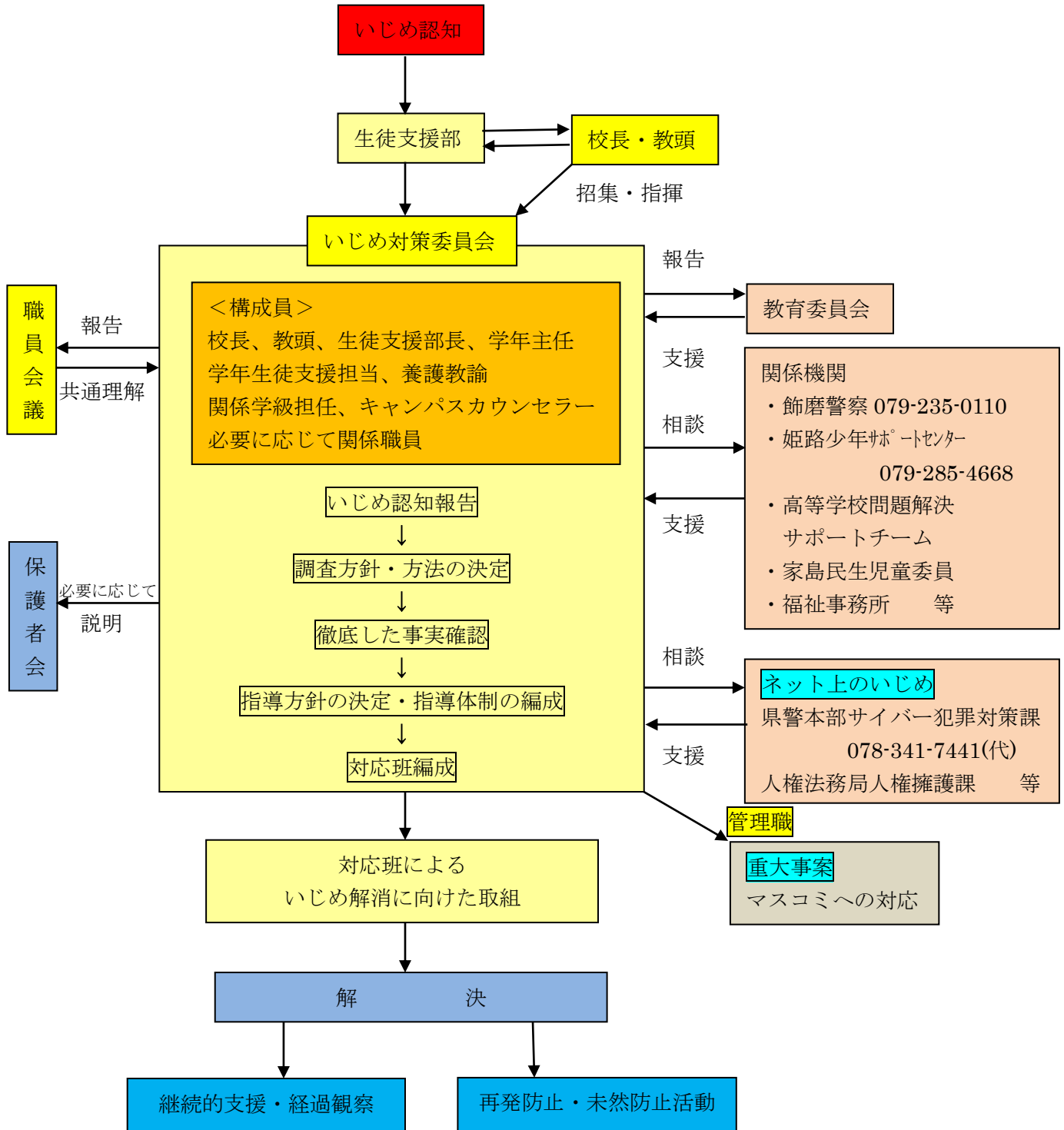
- ・担任はキャンパスカウンセラーと要配慮生徒等について定期的に情報交換を行う。

未然防止に向けた取り組み

- ・いじめを許さない学校づくりを進める。
- ・個別面談を学期終わりに実施する。
- ・面談に際しては、面談用の場所を用意して実施する。(職員室前で実施しない。)
- ・年間を通じて、登校時のあいさつ運動を実施する。
- ・定期的に姫路港7時10分発の高速いえしまにおいて乗船指導を実施する。
- ・定期的に昼休みの巡回指導を実施する。
- ・本校の水槽で海水魚を飼育し、生徒たちの感性を磨くとともに心の安定を得る。
- ・地域行事は、観光釣り大会、坊勢ペーロンフェスタ、祭りなどに参加し、社会性の育成を図っている。
- ・姫路城一斉清掃のボランティア活動への参加を通して自己有用感の向上を図る。
- ・SOS 相談窓口のポスター掲示

早期発見に向けた取り組み

- ・いじめアンケートは年9回実施。
- ・個別面談だけではなく、小規模校の利点を生かし、生徒の日常の微妙な変化に対応する。



- 被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、事実確認をする。
- ・いじめを発見した時は、ただちに加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聴取する。
- ・必要に応じて、全校あるいは全学年のアンケートを実施する。
- 双方の保護者に説明をする。
- 双方の保護者と関係職員、専門家を交えて、関係改善を行うとともに、傍観者への指導も行う。